

別紙7

令和6年度 沖縄コンベンションセンター及び万国津梁館指定管理者制度
運用委員会におけるモニタリングの検証結果について
(令和5年度実績分)

1. 施設名：(1) 沖縄コンベンションセンター
 : (2) 万国津梁館
2. 開催日時：令和6年7月30日（火）9:30～11:00
3. 開催場所：沖縄県庁2階 文化観光スポーツ部会議室
4. 出席者：委員4人中 3人出席
(会長) 一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会 顧問 神谷 繁 【出席】
(委員) 琉球大学国際地域創造学部 准教授 屋宜 智恵美 【出席】
(委員) 浦添商工会議所総務部結の街事業推進課 係長 當間 克哉 【出席】
(委員) 有限会社インターリンク沖縄 専務取締役 豊川 明佳 【欠席】
(事務局) MICE 推進課 (小浜課長、小島班長、宮里主幹、上原、松岡)
(指定管理者) 沖縄コンベンションセンター協同事業体 (玉城館長、上原副館長、伊佐)
 ザ・テラスホテルズ株式会社 (金館長、大城)
5. 検証事項：沖縄コンベンションセンター及び万国津梁館（令和5年度実績）に係る
 モニタリングの実施結果
6. 検証内容
 - (1) モニタリングは適正に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
7. 検証方法
 - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
 - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果
両施設の管理運営は適切に実施されている
9. 主な質疑・意見

【万国津梁館】

(1) カフェテラスについてカフェ事業以外の具体的な活用方法はあるのか。

回答 現状では人手不足や物価高騰の要因からカフェテラスは会議室として貸し出した方が良い収支を見込める。公共施設の活用可能な範囲での検討は引き続き検討する。

(2) 国外利用者の大幅な増加と県内催事、利用者が減った要因を教えてください。

回答 国際会議が大きく増えたわけではなく、大きな学会等により国外利用者数が大幅な増加となった。県内催事はインセンティブの割合が多い傾向であったが、物価高騰によりケータリングの値段が上がり、さらに類似施設が増えたことにより、県内利用者にとっての料金設定が合わなくなり、県内催事の利用減となっている。

(3) 万国津梁館は通常の施設と違って美観等が満足度や価値の良し悪しを決めるため、修繕等はどうなっているか。

回答 県は施設機能に影響があるところの修繕等を優先しており、指定管理者で美観的な箇所の修繕は行っている。今後は利用者の利便性にも考慮した修繕や整備を進めていく必要があると考えている。

(4) 機械による効率化に利する取組を行っているか

回答 お掃除ロボットについては以前検討したが、収支等で見送った、今後セキュリティ関連で DX 化の取組を検討したい。リゾート施設としてはロボットの活用は限定的になると思う。

【沖縄コンベンションセンター】

(1) 本社管理費という経費は何か、また、誘致の取組について教えてください。

回答 本社での誘致活動を行っているとのことでそれらの経費などとして本社管理費として積んでいる。誘致活動については誘致の結果はあるが、活動状況の記録は確認できなかったため、今後は記録等の整理も課題として認識している。

(2) 満足度向上のため県と指定管理者で連携して整備を行うということであったが、具体的にはどういうことか。

回答 施設の経年劣化ということ整備の必要性は認識しているが、催事への影響がないように工事を行う必要があるため、工事のタイミングなどや優先順位について指定管理者と連携して行う必要があると考えている。

(3) 収支について赤字に関しては誰が補填しているのか。

回答 共同企業体の出資割合に応じて各社で負担している。

(4) 赤字については利用料金収入の計画値未達が大きく影響していると思うが、今後どのような対策を行うのか。

回答 対策としてはセールス強化の取組と合わせて、利用料金の改定が必要だと考えている。開業以来改定していないことの影響も大きいいため、現状に合った料金を設定する必要があると考えている。合わせて支出の抑制も行い、両輪で赤字の解消を図りたい。

10. 会議の公開状況：モニタリング検証に係る審議のみ非公開

11. 非公開とした理由：沖縄県情報公開条例第7条第3項による